

平成29年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番 号	23	学 校 名	大宇陀高等学校
-----	----	-------	---------

1. 取組名 「ライフクリエイトコースにおける地域貢献プロジェクト」
高校生から元気発信！ ～地域貢献活動を通じた人づくり～

2. 活動内容

【目的】 地域貢献活動を通して、自分と立場の異なる人・動物とふれあい、人としてのあり方や命の大切さを真剣に考え、将来を創造する力と実践する力を養い、地域に活力を与える人材を育成。

【活動内容】

- うだ・アニマルパークスタッフによる講義「命の教育」。1年間を通して3回実施。奈良県で保護されている犬や猫の現状を知り、命の大切さ、動物との共存社会について考える機会となった。また、同施設のスタッフよりご指導を受け、飼育体験実習に臨んだ。
- 大宇陀特別養護老人ホームラガールでは、リハビリを目的として工夫をこらしたレクリエーションを考え実践した。異世代とのコミュニケーションにとまどいながらも積極的に交流した。
- ケア帽子（医療用帽子）製作・贈呈活動として、がんなどの病気が原因で脱毛された患者様へ手作りのタオル帽子を製作し、済生会中和病院に贈呈し、地域貢献活動を行った。
- 「命とくらし」新聞を作成し、地域での活動を振り返るとともに地域に配布し、情報発信を行った。
- 大宇陀こども園での幼児交流実習では、手作りのおもちゃを使って幼児との交流を行った。また、冬には、高校生が手作りの凧をこども園に持参し、幼児たちと一緒に凧に絵を描いた後、たこ揚げをして楽しんだ。

【 大宇陀こども園保育実習 】



幼児と一緒に凧にお絵かき



お姉ちゃんとおしゃべり



手作りのおもちゃで交流

3. 成果と課題

○地域貢献活動の体験をすることで、自他敬愛の精神やコミュニケーション能力、問題解決力等が身につく、豊かな人間形成を育んでいる。○多くの人とふれあう体験は、進路選択にも影響を与え、キャリア教育も効果的に進めることができる。○高校生たちが地域と関わることで、若いエネルギーが町の活性化に貢献できている。○限られた予算の中で充実した活動にする為には、材料の購入等に更に工夫が必要である。

4. 次年度に向けて（担当者の感想を含む）

毎年活動させていただく中で、本校は地域に大切にされている学校だと常々感じている。地域では高齢化が進み、若者が減少している。地域の施設と連携しながら、地域への愛着を深め、本校生徒が一層地域活性化に貢献できることを期待する。